



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 大和工業株式会社

コード番号 5444 URL <http://www.yamatokogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井上 浩行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 吉田 隆文

TEL 079-273-1061

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	37,998	16.8	2,113	111.5	4,478	118.8	2,680	121.4
23年3月期第1四半期	32,522	10.1	999	△80.7	2,046	△68.5	1,210	△63.5

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 5,783百万円 (61.4%) 23年3月期第1四半期 3,584百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	39.35	—
23年3月期第1四半期	17.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	237,189	189,882	76.2
23年3月期	230,388	185,104	76.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 180,810百万円 23年3月期 176,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	75,000	6.4	2,300	25.6	7,000	52.1	4,000	29.7	58.73
通期	150,000	11.4	5,000	114.6	13,000	27.2	8,000	21.1	117.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	70,040,000 株	23年3月期	70,040,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,932,677 株	23年3月期	1,932,677 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	68,107,323 株	23年3月期1Q	68,942,222 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、各連結子会社、持分法適用関連会社それぞれの所在国において、いずれも鋼材需要が伸び悩む状況で推移しました。

日本におきましては、東日本大震災直後の一時的な復興需要の盛り上がりは終息した後は、新規の建設・土木関連プロジェクトが先延ばしにされる傾向がうかがえます。国際的にも高い法人税率、歯止めのかからない円高、今後の電気料金引き上げへの憂慮等から、特に民間工場、倉庫建設への投資が躊躇される傾向にあり、その影響から販売数量は伸び悩んでおります。

連結子会社を有する韓国、タイ国、また持分法適用関連会社を有する米国におきましては、いずれも2011年1月～3月の業績が当第1四半期連結累計期間に反映されます。韓国におきましては、鉄筋が主に使用されるアパートの販売不振、建設の低迷により、厳しい業況が続いております。タイ国、及び持分法適用関連会社を有する米国におきましては、需要の強い盛り上がりは感じられないものの、一定の収益を確保しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37,998百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は2,113百万円（前年同期比111.5%増）、経常利益は4,478百万円（前年同期比118.8%増）、四半期純利益は2,680百万円（前年同期比121.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における海外子会社、関連会社の財務諸表から連結財務諸表の作成にかかる期中平均の為替レートは次のとおりです。

（海外各社の当第1四半期累計期間は平成23年1月～3月）

82.32円／米ドル、2.68円／バーツ、13.61ウォン／円

また、前第1四半期連結累計期間における期中平均の為替レートは次のとおりです。

（海外各社の前第1四半期累計期間は平成22年1月～3月）

90.74円／米ドル、2.76円／バーツ、12.61ウォン／円

なお、当第1四半期連結累計期間の四半期包括利益につきましては、本資料8ページ、四半期連結包括利益計算書において記載のとおり、5,783百万円（うち親会社株主に係る四半期包括利益は5,251百万円）となりました。その内訳は少数株主損益調整前四半期純利益3,074百万円、その他有価証券評価差額金△340百万円、為替換算調整勘定3,049百万円（少数株主に係る金額含む）となっております。

当第1四半期連結累計期間における為替換算調整勘定につきましては、平成23年4月28日発表の平成23年3月期決算短信において、約30億円の増加となる見込みとお知らせいたしましたが、概ねそのとおりとなりました。なお、平成23年10月末頃発表予定の平成24年3月期第2四半期連結累計期間においては、平成22年12月末と平成23年6月末の為替レートの差額が包括利益の為替換算調整勘定に反映されますが、この期間においては、やや円高に動いたことから、平成24年3月期第2四半期連結累計期間における為替換算調整勘定は約8億円の減少となる見込みです。

当社は保有する資産のうち、在外子会社等の占める割合が高く、今後とも引き続き海外事業の展開を続ける方針です。そのため為替レートの変動が包括利益に与える影響は大きく、為替レートが円高に動いた場合は包括利益のマイナス要因に、円安に動いた場合は包括利益のプラス要因となります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の変動

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ6,800百万円増加の237,189百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,023百万円増加の47,306百万円となりました。

また、純資産につきましては、四半期純利益の増加、配当金の支払による減少の他、為替換算調整勘定が2,911百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ4,777百万円増加の189,882百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における海外子会社、関連会社の財務諸表から連結財務諸表の作成にかかる為替レートは次のとおりです。

(海外各社の当第1四半期会計期間末は平成23年3月末)

83.15円/米ドル、2.74円/バーツ、13.32ウォン/円

また、前連結会計年度末における為替レートは次のとおりです。

(海外各社の前会計年度末は平成22年12月末)

81.44円/米ドル、2.70円/バーツ、13.98ウォン/円

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に売上債権とたな卸資産の増加等により、営業活動による資金は174百万円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得による支出、関係会社株式の取得による支出等により、投資活動による資金は6,059百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払等により、財務活動による資金は490百万円減少しました。

以上に現金及び現金同等物に係る換算差額1,141百万円を加味し、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ5,583百万円減少の47,788百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、前回予想(平成23年4月28日公表)に比べ、日本及び韓国の業績が伸び悩んでいることから、売上高、営業利益を修正いたします。

また、通期連結業績予想につきましても上記と同様の理由から、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ修正いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	71,111	65,422
受取手形及び売掛金	23,684	26,532
有価証券	0	700
商品及び製品	10,502	14,183
仕掛品	476	465
原材料及び貯蔵品	14,241	16,392
その他	1,551	1,291
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	121,553	124,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,354	15,390
機械装置及び運搬具（純額）	29,873	29,529
土地	13,472	13,844
建設仮勘定	349	237
その他（純額）	256	241
有形固定資産合計	59,306	59,243
無形固定資産		
のれん	3,057	2,967
その他	382	377
無形固定資産合計	3,439	3,344
投資その他の資産		
投資有価証券	21,131	24,914
出資金	22,525	22,238
その他	2,555	2,600
貸倒引当金	△124	△124
投資その他の資産合計	46,088	49,628
固定資産合計	108,834	112,216
資産合計	230,388	237,189

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,582	14,277
短期借入金	796	808
関係会社短期借入金	—	450
未払法人税等	546	570
賞与引当金	390	260
その他	8,729	8,526
流動負債合計	23,045	24,892
固定負債		
長期借入金	9,274	9,411
繰延税金負債	9,244	9,400
退職給付引当金	1,929	2,003
役員退職慰労引当金	1,238	1,144
その他	551	454
固定負債合計	22,237	22,414
負債合計	45,283	47,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,996	7,996
利益剰余金	212,125	213,801
自己株式	△918	△918
株主資本合計	219,204	220,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,917	1,577
為替換算調整勘定	△44,558	△41,647
その他の包括利益累計額合計	△42,640	△40,069
少数株主持分	8,541	9,072
純資産合計	185,104	189,882
負債純資産合計	230,388	237,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	32,522	37,998
売上原価	29,233	33,307
売上総利益	3,288	4,690
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,047	1,188
給料及び手当	292	308
賞与引当金繰入額	60	65
退職給付引当金繰入額	50	24
役員退職慰労引当金繰入額	22	20
その他	815	969
販売費及び一般管理費合計	2,289	2,576
営業利益	999	2,113
営業外収益		
受取利息	83	87
受取配当金	103	114
持分法による投資利益	1,209	2,119
デリバティブ評価益	425	234
その他	105	110
営業外収益合計	1,927	2,666
営業外費用		
支払利息	198	192
為替差損	125	72
デリバティブ評価損	551	31
その他	4	4
営業外費用合計	880	301
経常利益	2,046	4,478
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	1	1
投資有価証券評価損	17	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21	—
特別損失合計	39	2
税金等調整前四半期純利益	2,007	4,476
法人税、住民税及び事業税	735	1,284
法人税等調整額	173	118
法人税等合計	909	1,402
少数株主損益調整前四半期純利益	1,097	3,074
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△112	394
四半期純利益	1,210	2,680

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,097	3,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△449	△340
為替換算調整勘定	2,936	3,049
その他の包括利益合計	2,486	2,708
四半期包括利益	3,584	5,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,326	5,251
少数株主に係る四半期包括利益	257	531

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,007	4,476
減価償却費	1,385	1,316
受取利息及び受取配当金	△187	△202
支払利息	198	192
持分法による投資損益(△は益)	△1,209	△2,119
売上債権の増減額(△は増加)	△1,559	△2,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,976	△5,298
仕入債務の増減額(△は減少)	289	1,285
その他	△193	155
小計	△2,245	△2,591
利息及び配当金の受取額	410	3,050
利息の支払額	△4	△5
法人税等の支払額	△323	△628
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,163	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,323	△870
定期預金の払戻による収入	467	688
有形固定資産の取得による支出	△1,556	△1,610
関係会社株式の取得による支出	△458	△4,262
その他	△13	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,883	△6,059
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,936	450
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,258	△935
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△0	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	674	△490
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,061	1,141
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,310	△5,583
現金及び現金同等物の期首残高	90,677	53,372
現金及び現金同等物の四半期末残高	87,367	47,788

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼事業 (日本)	鉄鋼事業 (韓国)	鉄鋼事業 (タイ国)	軌道用品 事業	重工加工 品事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	8,238	12,099	10,061	769	1,281	32,450	72	32,522	—	32,522
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	564	—	—	—	—	564	—	564	△564	—
計	8,802	12,099	10,061	769	1,281	33,014	72	33,086	△564	32,522
セグメント利益	287	346	479	0	124	1,238	12	1,250	△251	999

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、医療廃棄物処理、不動産事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△251百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	鉄鋼事業 (日本)	鉄鋼事業 (韓国)	鉄鋼事業 (タイ国)	軌道用品 事業	重工加工 品事業	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	10,062	10,808	14,699	973	1,378	37,922	75	37,998	—	37,998
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	676	—	—	—	—	676	—	676	△676	—
計	10,738	10,808	14,699	973	1,378	38,598	75	38,674	△676	37,998
セグメント利益	588	140	1,392	96	138	2,356	15	2,371	△257	2,113

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、医療廃棄物処理、不動産事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。